

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	生活環境課
基本構想	環境と風景が息づくまちづくり
重点的方針	1. 二宮の自然、文化、住環境の魅力
分野別方針	(6)循環型社会の推進
実施計画事業	1)ごみ処理広域化推進事業(No.39)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	ごみ処理広域化推進事業	98.4%	A
02	剪定枝資源化施設整備事業	100.0%	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	1市2町が連携して、ごみ処理広域化処理に向けて推進する必要がある。		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	説明	ごみ処理広域化を推進し、安定的、経済的なごみ処理体制の確立を図った。

方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	剪定枝資源化施設については、平成27年10月稼働に向けて、周辺環境に配慮した施設整備、運営が行えるように詳細設計及び体制整備を行う。		

◎評価者[担当主管部長]			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
意見等	廃棄物を安定的に安全で安心して処理するためには、ごみ処理広域化が唯一の手段であるため必要である。		